

気持ちの感じ方

ぼくは色々な気持ちを感じてる

例えば楽しい

友達と遊ぶと楽しい

楽しいという気持ちは

ぼくは好きだ

楽しいという気持ちだったから

何時間感じていても良い

だからぼくは

楽しい事をいっぱいしたい。

S・K

みんなの気持ちは

この世界では...

みんながみんな心を持っている

人間、虫、動物、植物

この世界では

色々な気持ちがある

例えば...

人間は虫をいやがったりする

例えば...

人間は動物をかわいがる

なぜか、人間が中心なのだ

でも忘れてはいけない

みんながみんな

同じ気持ちを

持っていることを

O・Y

雪

なんで雪がふるんだらう

せいかくはたまたまだった

また雪

雪がとけた

と思った

またまた雪

これじゃめやっても増える課題みだ

でもせんぶやれば課題もなくなる

雪とちよとにうける

雪もいずれかふりやむ

かならずとける

春にとける

卒業と同じ時期にとける

ちよとつれい

H・Y

朝

朝は辛い

特にこの季節は辛い

寒いし暗いしねむたいし

学校屋敷から始まればいいのに...と

私はいつも

あゝあ

いつか法律かわんねーかなー...と思う

T・M

雪

十一月にあまり雪がふらなかったけど

十二月に入ると雪がいっぱいふりました。

でも十二月にクリスマスがあるから

べつにいいです。

雪がふったら寒いです。

でも十二月二十五日ラインがある

でも十二月二十五日ラインがある

S・S

秋

T・T

ほくは秋とらう季節が
一番つれこい
温度もあつくもなへんせむへもなへ
ちやうどつれこい

今週はラッキー

今週はラッキー

5時間授業が多い

月曜・水曜・木曜

たくさん5時間があつてつれこい

今週はラッキー

A・H

ほくの刺持す

ほくの刺持す

ふくせつだ

けど

みんなも

ふくせつだや

ふくせつだ

わかりやすく

伝えることが

大事

K・H

お母さんのたん生日

I・H

気もち

H・K

季節の景色

K・H

十二月二十六日

お母さんのたん生日がある

お母さんにないしまで

プレゼントを買いに行こうと思つ

ちやうどお母さんが

家にいなくて

お父さんは仕事が

休みなので

いっしょに買いに行こうと思つ

楽しみだ

よろこんでくれるかなあ

たまーにお母さんにほろが立ってしまつ

「なんでも人には注意するのにな」

自分ではやつてないことがあるんだ」って

大人だからいいとかさういふ問題じゃない

人に注意するくらいなら自分でせ

やればいいのになあ

しかも私が注意するやあ

子どもに注意されてほろが立つのはわかるけど

いくらなんでもそれはないだろ

ほんごうきでほない

ほろが立っていいのだ

ほくの刺持す

ほくの刺持す

ふくせつだ

けど

みんなも

ふくせつだや

ふくせつだ

わかりやすく

伝えることが

大事

私は季節が好きだ

春はピンクに

色づいて

夏は緑に

色づいて

秋は茶に

色づいて

冬は白に

色づいて

春・夏・秋・冬

いろんな色が

色づいて

きれいに色づく

私は季節が好きだ

冬が来た

今日、久しぶりに大雪

今年はじめた

いつまでも降ってほしいなあ

雪は私にとって

たんじょう日や

クリスマスを思い出させてくれる

私は冬が好きだ

雪が降るから

I・A

気持ち

人それぞれに気持ちがある

気持ちがあるから

人はわかり合える

わかり合えないなら

話し合えばいい

気持ち……

S・S

自由

自由は

人の意思そのもの

自由は永遠に続く

人の人生が終わるまで続く

永遠に続く

M・S

冬がやだ

まじで冬がきらい

なんで冬がくるんだろ

春・夏・秋だけならいいのに

冬は

スケートもあつて

自転車ものれない

早く夏が

くればいいのに

M・Y

冬

冬になった

家ではストーブをつけて温まる

心や気持ちも温まる

みんな冬がほかほかになる

そして寒い冬をみんなでのりきる

M・M

〇〇でバカにされること

私はよく自分の好きな

ジャンパー・スグループをバカにされる

好みは自由だけとバカにされると超ムカつく

たまに

「お前らふざけんな、好みは自由だよ」

と聞いてどうする

私は、自分の好きなジャンパー

バカにされるけど大丈夫だよ

M・T

宿題したくない

また宿題だ

めんどくさい

やりたくない

でもやらないといけない

やっつけて終わらせてゲームをする

これからもずっとやっつけていきます

色々な気持ち

人はみんな気持ちがちがう
やりたい やりたくない
うれしい うれしくない
さびしい さびしくない
痛い 痛くない
きびしい きびしくない
はらが立つ はらが立たない
悲しい 悲しくない
楽しい 楽しくない
色々な気持ちがある
でも同じ気持ちがある
けど感じ方はちがう
人はみんな色々な気持ちを
感じて生きていく

雪がふった
いっぱいふった
木がまっ白になった
道もまっ白になった
白かった
白かった
キレイだった

H・Y

空の下には

空の下には大地がある
その大地の上で
植物が生きている
動物が生きている
人が生きている
限られた大地の中で
みんな生きている
大地の上には命がある
空の下には命がある

H・I

たのつは耳が遠い

つは2、3回よんでも来ない
つは私が手を2回たたいて
「つおいでー」
といたら来る
車の中から
「つー行って来るね！バイバイ」
といたら見てくれない
だから耳が遠い

W・K

最後だけと最初

今は六年生
六年生は最後が多い
運動会も最後だ
学芸会も森の里祭りも最後
だけと修学旅行は
最後で最初だ
だけともこれから中学生になる
また最初から始まるんだ

M・Y

私のお姉ちゃん

私のお姉ちゃんは、すくすくケチだ。
私の本は読むくせに、
自分の本は読ませしてくれない
いつもぞう
そして、必ず私にかくし事をやる。
このマニエ・マンカはタメツクツク。
すくすくあやしい感じがする。
破らない証(しるし)を見せてほしいとも言う。
そのたびに、けんかになる。
やっぱりお姉ちゃんはキライだ。

M・H

K・S

まへまへ

まへまへ

まへまへまへまへ

まへまへまへまへまへまへまへまへ

まへまへまへまへまへ

まへまへまへまへ

まへまへまへまへ

まへまへまへまへまへまへまへまへ

まへまへまへまへまへまへまへまへ

まへまへまへまへまへまへまへまへ

まへまへまへまへまへまへまへまへ

T・K

詩で何を書くかまへまへまへ

迷っている

今、詩を書くのに迷っている

何を書こうか迷っている

ふと、思いついた

迷っていることを書こう

書くことが決まった

決まってもよかった

詩は、なんでも書ける

私も書けた

意外とシンプルに書けた

ほらね、今書いている

M・K

かくれんぼ

つめたい風がふく

公園で

友だちと

かくれんぼ

ガサガサガサ

と音が聞こえた

ドキドキ

ドキドキ

緊張がはしる

I・K

サッカーの大会

サッカーの大会があった

一対二で負けた

負けてくやしかった

もっと点を取って勝ちたかった

もっと試合をしたかった

いっぱい走ってあせが出てきた

いっぱい走ってつかれた

負けてくやしかった

もっと点を取りたかった

S・T

初雪

ついでの間

初雪が降った

冬が近づいた感じがした

雪が降ると

気が早まって

スケートが楽しみになってきた

ただ今は十月

雪は積もりそうじゃない

スケートがまだできるうちに滑りたい

気長に待っている

もっと雪が降るといいな

M・H

よかった

かげから男の子が出てきた

また緊張がはしる

春夏秋冬

Y・H

春は風寝が気持ちいい

ポカポカ日が当たりちやうどいい

夏はスイカが最高！

みずみずしくて

気持ちがしゃっきりする

秋は自転車

帯広の森で一休み

冬は布団

あたたかくておきられない

ほとくの春夏秋冬は

自由だなあ

えりCAFE

M・E

えりCAFE準備

かざり作り

Xニュー作り

試作品作り

もつちやることがいっぱい

たいへんだなあ

でも、すてく楽しくみだなあ